

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【公表番号】特表2008-519112(P2008-519112A)

【公表日】平成20年6月5日(2008.6.5)

【年通号数】公開・登録公報2008-022

【出願番号】特願2007-539442(P2007-539442)

【国際特許分類】

C 10 L 3/10 (2006.01)

C 07 C 13/24 (2006.01)

C 07 C 13/26 (2006.01)

C 07 C 13/271 (2006.01)

【F I】

C 10 L 3/00 C

C 07 C 13/24

C 07 C 13/26

C 07 C 13/271

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月6日(2008.11.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

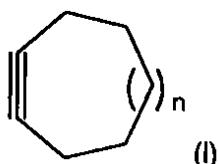
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)

【化1】



式中、

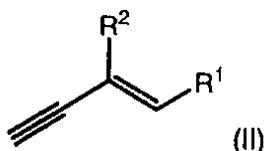
nは、1、2、または3であり、および

最大2個の水素原子が、メチル基によって置換されている、  
で表されるシクロアルキンの、燃料ガス着臭剤としての使用。

【請求項2】

式(I I)

【化2】



式中、

R<sup>1</sup>は、水素、メトキシ、またはエトキシであり、および

$R^2$  は、水素、またはメチルである、  
で表されるアルキン、および / または

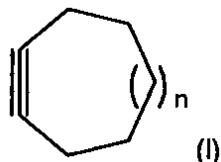
I I ) ピラジンおよび硫黄化合物から選ばれる化合物、

を伴なう、請求項 1 に記載の式 ( I ) で表されるシクロアルキンの、燃料ガス着臭剤としての使用。

【請求項 3】

有効量の式 ( I )

【化 3】



式中、

$n$  は、1、2、または3であり、および

最大2個の水素原子が、メチル基によって置換されている、

で表される少なくとも一つのシクロアルキンの、燃料ガスへの導入を含む、燃料ガスの着臭方法。

【請求項 4】

有効量のガス着臭剤の、燃料ガスへの導入を含む、燃料ガスの着臭方法であって、該ガス着臭剤が、

a ) 5 ~ 100重量%、好ましくは少なくとも10%の、少なくとも一つの式 ( I ) で表されるシクロアルキン

b ) 最大95重量%の、少なくとも一つの式 ( I I ) で表されるアルキン

c ) 最大10重量%の、ピラジン

d ) 最大60重量%の、硫黄化合物

を含む、前記燃料ガスの着臭方法。